



第6号（令和2年8月31日発行）伊丹市立北中学校長 升井竜雄

～いよいよ明日から2学期がスタート～

今年は今日で1学期が終わります。今学期はじめは、「新型コロナウイルス」による長い臨時休校があり、6月1日から分散登校、6月15日から通常授業が始まりました。45分7校時授業にもなりました。いつもとは違う3ヶ月間でしたがどのように過ごせましたか。

いろいろな行事もなくなり残念でしたが、みんな暑い中、本当によく頑張りました。

わたしは運動部3年生が交流大会で集大成の姿、勇士を見せてくれましたことが印象に残っています。勝っても負けても悔いのない試合ができたものと思います。この後は受験勉強にシフトしてください。

さて、今日は通知表をもらいますが、どんな結果であっても、しっかり受け止める強さを持ってください。

人は反省した分だけ成長します。また、人は壁にぶつかった分だけ強くなります。そして、苦しんだ分だけ幸せを感じられるようになります。

3者懇談でのお話や、通知票の結果をよくふりかえって、この1学期、ほめられたことも、しかられたことも、すべて一歩成長するためのものです。前向きに、自分自身を見つめ直すきっかけとしてください。明日からは2学期です。終業式の次の日が始業式というのはなんだか変な感じですが、心はじめをつけることが大切です。今日までとは違った、すがすがしいやる気いっぱいの気持ちで明日からの2学期を迎えてもらいたいと思います。

★一学期末に各学年で発表された、「一学期を振り返って」の代表作文を紹介します。

一学期を振り返って

1年7組 佐々木 凜

私は今、本当に学校が楽しいです。私のクラスは、明るくにぎやかな人も、まじめなしっかり者も、仲良く過ごせるとてもいいクラスです。さらに担任の先生にも恵まれ、教育実習の先生も来られ、いろいろな楽しい出来事がありました。

私は委員長の仕事をさせていただいていますが、とても楽しいです。毎日クラスみんなから「委員長」と頼られることに責任は感じますが、うれしく、日々やりがいと自覚を感じています。

私は入学式で新入生代表のあいさつをさせていただく予定でしたが、コロナウイルス感染症対策のため、式が簡略されてなくなりました。とても残念でしたが、休校期間が終わり、三か月間の充実した日々が、その残念さを吹き飛ばしてくれました。

小学生の時と比べ、自分が変わったなと思えることがあります。それは明るく声をかけるようになったこと。いろいろな人と話をするようになったこと。いろいろやってくれた人や、支えてくれた人に、ありがとうと言うこと。これはクラスのみんなに影響されて心がけるようになったことです。

この前、クラスメイトに「うちの委員長がしっかりしていてよかった」と言われ、とてもうれしかったです。他のみんなにもそう思われていたら

良いな。まだまだ頑張ろうと思いました。

充実した一学期でしたが、学年にもクラスにも課題はまだあります。みんなで一番徹底していききたいことは「メリハリ」です。休み時間と授業中のメリハリや、授業中でも発言するべき時と、静かに先生の話を聞くときのメリハリなど、いろんなところでけじめは必要になってきます。専門委員会でも課題として挙がり、目標にしていますが、達成できていないのが現状です。それを学年委員が中心となって、みんなで心がけていきたいです。そのためには何をすべきなのかを学年委員で一丸となり、考えていきたいと思います。そして「さわやか全力」という学年目標の通りに、明るく何事も一生懸命取り組める、そんな学年づくりをしていきたいです。

一学期を振り返って

2年1組 六楽内 美佑

今年の春休みは、臨時休校もありいつもより長い休みとなりました。そのため二年生のスタートはなんとなく切ることになってしまいました。私はその長い休みの間、一日中何もせずだらだらと過ごしてしまう日が多くありました。その日々は、学校の生活リズムとは違い、朝遅くに起きて、何かをするわけではなく、ただ時間だけが過ぎていき、遅くに寝ていました。今もし、その時間に戻れるとしたら毎日計画を立てて勉強も自分の趣味もして、有意義な時間を過ごしたいと思います。しかし、この期間でよかったこともあります。それは、友だちの大切さ、学校の重要さに気づけたことです。学校が休みになって2ヶ月後久しぶりに学校に行くことになりました。緊張と不安もありましたが、やっと友だちに会える嬉しさを感じました。みんなも新しいクラスになって緊張しているようでしたが、すぐに打ち解けていました。行事が少ない一学期の中で一番思い出に残っていることは学級役員選挙です。演説で自分の意志が全員に伝わるように話す内容を工夫し、実行できたからです。この学級役員選挙で言ったことをきちんと行動で示さなければならないという思いで仕事を一生懸命しました。友だちに注意するときには言いにくいときもありましたが、選ばれた責任があるのでしっかりと果たせて良かったです。

部活動では、初めて後輩ができました。私は吹奏楽部に入っています。今までは、室内で合奏していましたが、今は外で合奏しています。外はとても暑く、また楽器は日に当たるとあまり良くないので楽器の扱いに注意しなければなりません。ですが、外は天井がないため音が響きやすく、とても開放的で気持ちよく演奏ができます。大変なこともありますが、今の部活の形も楽しいです。

二学期、頑張りたいことは色々なことに気を配ることです。学級では、委員長という立場もあり考えて行動してきましたが、部活動では自分のことだけで精一杯で、足りなかった部分がたくさんあったように思います。部活動でも自分のすべきことが終われば次は何をすべきかを考えて、行動したいと思います。

今年は、夏休みが減ってしまいました。その分、失ったクラスで過ごせる時間が取り戻せます。時間を大切に、まずは学年全員が当たり前のことを当たり前に行えるようになりましょう。失った時間を悔いる前に、これからの時間を失わないように工夫することが大切です。小さなことかもしれないですが、うがい・手洗いなどの対策をしっかり続けていきましょう。

一学期を振り返って

3年5組 阪田 泰治

気がつけば、三年生の一学期が終わろうとしています。二年生の3月には、卒業式に参加ができず、お世話になった先輩達に感謝の【裏面へ】

気持ちを伝えることができませんでした。三年生になった4月、5月も臨時休校が続き、気持ちが落ち着かない春を過ごしました。いつもなら、サクラの花に迎えられ、三年生が始まったはずですが、コロナウィルス感染防止のため、「不安と戸惑い」の中で、スタートしました。

6月には学校が再開しました。分散登校や7時間授業など、大変なことばかりでしたが、やっぱり、学校は楽しい場所でした。友達とも会えるし、部活動もできるし、「学校で過ごす喜び」を再確認しました。久しぶりで、武道場に入ったとき、うれしい気持ちでいっぱいになりました。ここが「自分を鍛えてくれる一番の場所だ！」と実感し、気持ちが切り替わりました。先輩たちは、もういないけれど、キャプテンとして、責任を果たそうと思いました。一年生が9人も入ってくれたのです。教え甲斐もあるし、やる気も沸いてきます。小学校から柔道をやってきた僕は、小柄なので、スピードやテクニックが必要とされる「背負い投げ」を得意技にしています。下級生にも、自分にできる技を、いっぱい教えてあげようと考えています。

入学式の時、校長先生がこんな話をされたと、後で聞きました。「負け方の練習から始まるスポーツがある！。それは柔道だよ。柔道は、投げられたときの受け身の練習から始まるんだ。攻めることばかり、勝つことばかりを考えるのではなく、負けるとき、辛いときのかかし方を知ること、とても大事なことなんだ。」と。

この話を聞いて、「柔道」というスポーツのすごさに驚きました。そして、今まで以上に柔道が好きになりました。一年生や二年生と共に一生懸命、練習していきたいです。

8月29日には、交流大会があります。もちろん、目標は優勝ですが、まずは、今までやってきたことを出し切って、悔いの残らないように、試合をしたいです。学校が休みだった3ヶ月の間、毎朝、一緒に走ってくれた親友のためにも頑張りたいです。

あつという間に過ぎた一学期ですが、二学期には進路実現に向け、本気で勉強を頑張らないといけません。僕には、「目標とする高校」があります。その高校に入って、「文武両道」で頑張るのが、自分の夢です。しかし、勉強に関しては、全くと言っていいほど、気持ちが入っていません。すぐ諦めたり、めんどくさいからと遊びに逃げたり、受験生としては反省することばかりです。

学習委員が毎日記録をしている「家庭学習時間調査」では、班のメンバーは、どんどん時間を増やしているのに、自分は班の人の足を引っ張っている感じです。「これではいけない、なんとか勉強が進むようにしなければ！」「じゃーどうすればいいのか？」と、自分なりに考えてみました。

僕の得意技は「背負い投げ」だと言いましたが、この技は、「組み手」と「体幹」を鍛えないと、上達しません。学習でも、この「組み手」と「体幹」があれば、うまくいくのではないだろうか？いち早く相手の胸元を取る「組み手」の構えと、少々のことでは、ぐらつかない「体幹」を意識すれば、僕も勉強に真剣に取り組めそうな気がします。「部活動でできることは、勉強でもできるはずだ。」と、自分に言い聞かせることにしました。少し気づくのが遅かったと思いますが、これからは、「勉強に対する必死の努力」をしたいと思います。

二学期はクラスのみならず協力して、楽しい学校生活を送りたいと思います。行事は、今まで通りにはできませんが、もうすでに、多くの委員や係、有志の人たちが動いて、今の自分達にできる最大の努力をしています。そんなやる気と優しさのあるたくさんの仲間がいて、とても心強いです。

そして、一年生からの学年スローガンである、「みんなで認め合い、みんなが一生懸命！」を大切にしながら、北中三年生としての後半戦を、着実に進んでいきたいと思っています。

「長崎へ届いた3年生の祈り」



7月15日から平和学習の取り組みとして、被爆者慰霊のため3年生全員で鶴を折りました。中心になったのは折り鶴委員です。放課後に集まって製作を頑張ってくれました。

結果、全部で4800羽。一人当たりになると20～30羽になりました。折り方がわからず苦戦している人もいましたが、得意な人が教えてくれていました。やり直しをしたり、家に帰って練習したりと悪戦苦闘の末、何とか折り終え、この4800羽の折り鶴を一枚の「平和祈念像の絵」にすることができました。

今年度は修学旅行に行けなかったため、出来上がった作品は長崎の平和公園に送り祈念像横の折り鶴の塔に奉納しました。

すると先日、長崎から右上の写真と感謝のお礼状が学校に届きました。3年生が心を込めて作成した折り鶴のアート。修学旅行には行けませんでした、3年生の祈りの心はしっかりと長崎に届いたようです。



【表彰】

今年は夏季総合体育大会が中止になり、交流試合となりました。特に3年生はこれまでの集大成として、暑い中どの運動部も頑張り抜きました。その結果をお知らせします。

令和2年度伊丹市総合体育大会（交流大会）結果

団体	サッカー部	第3位	
個人	陸上競技部	共通女子100m 第3位	手島 菜月（3年）、村岡 優（3年）（同タイム）
		共通女子200m 準優勝	浅川 怜美（3年）
	男子ソフトテニス部	優勝	須澤 心晴（3年）・益田 大雅（3年）ペア
	女子ソフトテニス部	準優勝	橋本 祐里（3年）・岡本 陽奈（3年）ペア
		第3位	稲葉 玲奈（3年）・阪谷 和奏（3年）ペア
	男子卓球部	準優勝	細川 健斗（3年）
	水泳部	女子200m背泳ぎ 優勝	浅川 真優（2年）
		女子100m背泳ぎ 第3位	
	剣道部	男子個人 優勝	村原 璃空（2年）
	柔道部	男子-73kg級 優勝	阪田 泰治（3年）
女子無差別級 準優勝		辻 優里（3年）	
女子無差別級 第3位		内田 朱音（3年）	